

# 標高差1,500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出

## <目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

## <目標内容>

まちの欠点（平地が少ない）を認め、転換思考をもって地域の資源（価値）に繋げ、地域活性化に取り組む  
 ⇒標高差のあるまちの特徴を活かすため、高地トレーニングエリアを整備

～「とうみ」へ新しい人の流れをつくる～ 交流人口の増加、地域経済の活性化

湯の丸高原スポーツ交流施設利用者の**市内宿泊数 14,000泊**（令和7年度目標）

湯の丸高原スポーツ交流施設において医学科学的なデータが集積されることで、**市民の健康長寿の取組みへ還元**したい。



## <PRポイント>

**どこよりも高く**

SUN RISE  
高地トレーニングの夜明け

Yamamaru Highlands  
Alt. 1,750m

標高**1,750m**

【国内唯一】  
高地トレーニング用屋内プール

【国内最高地点】  
全天候型400mトラック

**どこよりも近く**

東京との距離は  
約**200km**

移動時間は最短で  
**2時間30分**

**どこよりもコンパクト**

全ての施設が  
直径**500m**に収まる

## <概要> 計画期間：～令和8年3月31日

### <現状・課題>

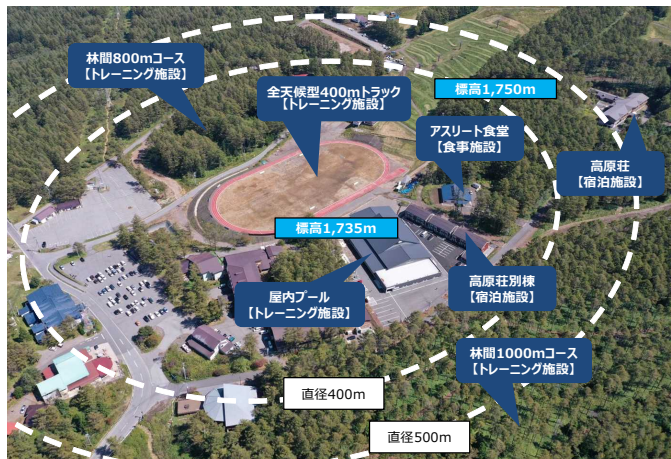
「**難読市**」ランキング堂々の**1位**！人口3万人弱の**小さな自治体**であり、**知らない方が大半**

スポーツ合宿利用者：H31年5,165泊、R元年11,972泊、令和2年10,179泊、令和3年11,956泊、**令和4年12,107泊** ⇒《R7目標：14,000泊》

東京オリンピック・パラリンピックを経て評価が上がり、監督・コーチのロコミや選手のSNSでの発信もあり「東御」、「湯の丸」の**認知度が飛躍的に向上**。

### <総合的な取組内容>

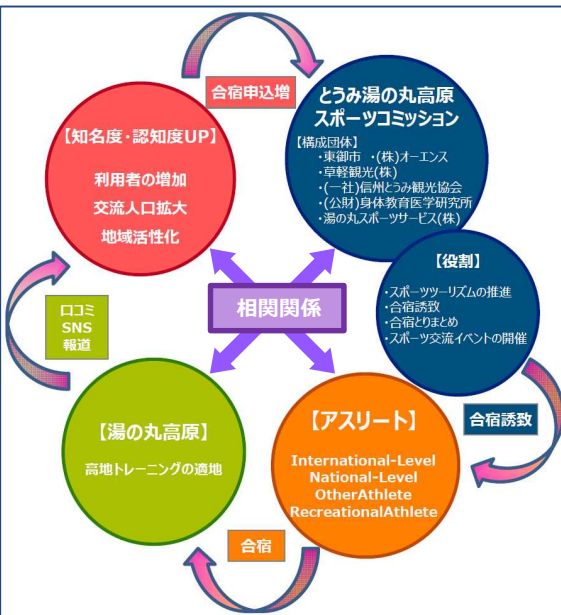
- 多様な宿泊ニーズに応えるため、合宿所タイプの宿泊施設に加え、令和3年にアパートメントタイプの宿泊施設を整備  
⇒目標：宿泊者数 **14,000泊**
- とうみ湯の丸高原スポーツコミッションが合宿の誘致、支援を行い、練習環境から宿泊、食事の手配に至るまで、ワンストップでトータルサポートすることで利用者負担を最大限軽減  
⇒目標：交流人口の増加、地域経済の活性化
- 長期滞在する選手やコーチ陣のために地産の食材を活用した女子栄養大学監修の食事を5週間毎食違うメニューを提供。管理栄養士が常駐し、アレルギー対応も可能。  
⇒目標：宿泊者、交流人口増、地域経済活性化



GMOアスリートパーク湯の丸



## <継続的な取組を確保できる体制（図）>



### 各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：東御市文化・スポーツ振興課
- 地方スポーツ推進計画：東御市スポーツ推進計画
- 地方版総合戦略：東御市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略
- 地域スポーツコミッション：とうみ湯の丸高原スポーツコミッション

### 【問合せ先・電話番号】

東御市企画振興部文化・スポーツ振興課  
 TEL 0268-75-1455

【フォローアップ欄】令和6年度以降における計画の進捗状況